

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

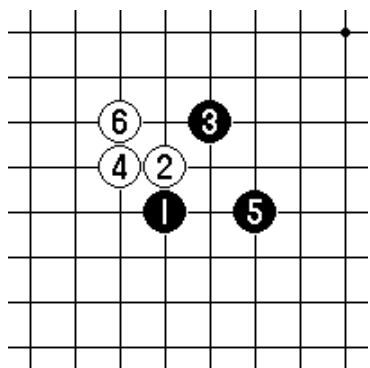
● 第103回 ●

■五珠でドボン①

新型コロナウイルスの影響はいまだに続いているが、徐々に様々な活動は再開しているようだ。

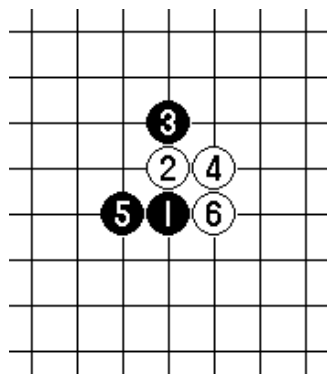
連珠も6月から一部大会が開催され、名人戦1次予選も実施された。ただし、まだ定例会は復活できていない。私としては実戦の機会がなくなってしまうので、打ちたくてうずうずしている。しかし、どんな時でも勉強はできるものである。ツイッターで「五珠でドボンの手を打ってしまったので、よくあるドボンの手を知りたい」という意見を見つけたので、それでは、と各珠型について典型的なドボンの五珠を探してみた。今回は直接珠型13珠型について探ってみよう。

< 溪月 >



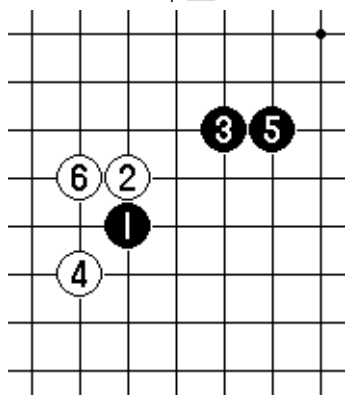
寒星は黒1、3の黒石で白2が挟まれているため、あまりドボンの五珠がない。あえて探すとすれば、この5だろう。白6と打たれて身動きが取れない。続いて溪月。もともと八題打てる珠型なので、ドボ

< 寒星 >



まずは、寒星から。

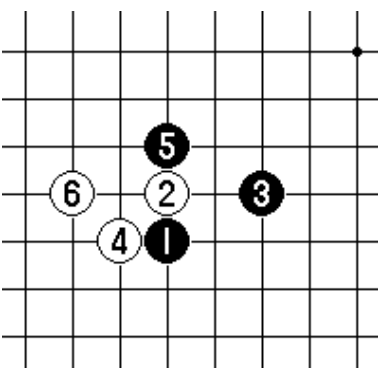
< 疎星 >



ンがあるのか？とも思うのだが、この5は知っておきたいドボンである。他の珠型からも合流するので、結構重要だ。続く疎星は溪月以上に厄介で、疎星横断の防ぎでは黒の選択枝が多すぎてドボンも少ない。そこで、この4の時に黒5がドボンという図を示しておく。

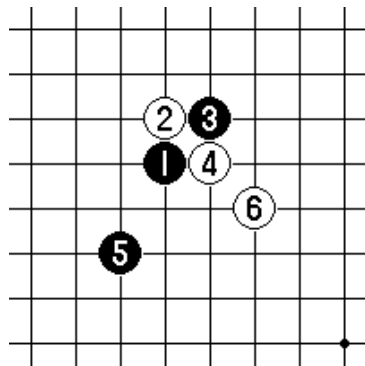
花月が一番黒にとって困る。いや、ドボンを見つけたらという意味だが、それだけ黒が有利という証でもある。やはり切り違いになるのだが、現在は黒5は白6で負けというのが定説だ。

< 残月 >



残月で白4が一番多い手だが、黒5と打っては白6で負けとなる。寒星からも出る形になっているのがわかるだろう。

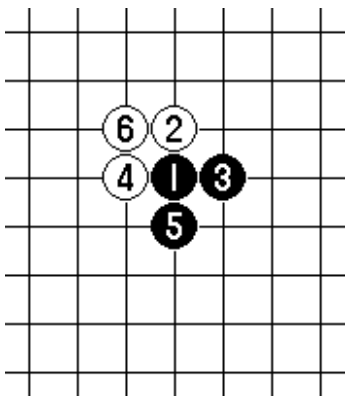
< 花月 >



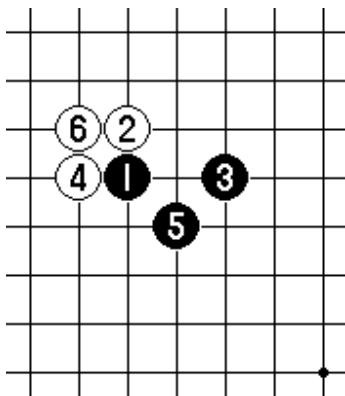
紙面の関係でここからは一気に見てみよう。雨月、金星とも白6と固まられる

手があるので、うっかり打ってしまわないように。

<雨月>

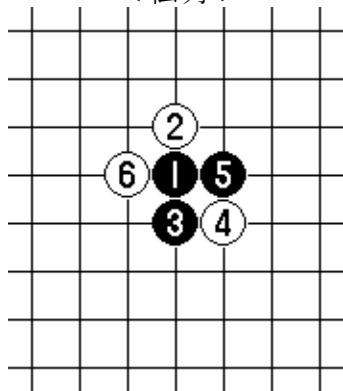


<金星>



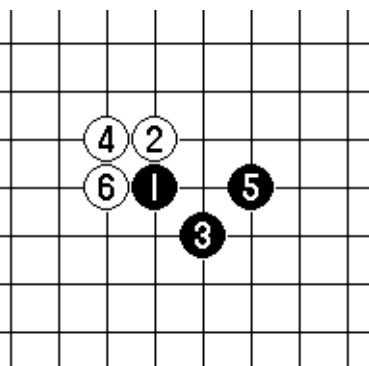
次の松月も白4で天地止めならなかなかドボンの五珠がないので、白4で雲月雨月の形に戻す形で考えた。黒5はすぐに負ける形ではないが、ドボンに近ければよい。

<松月>



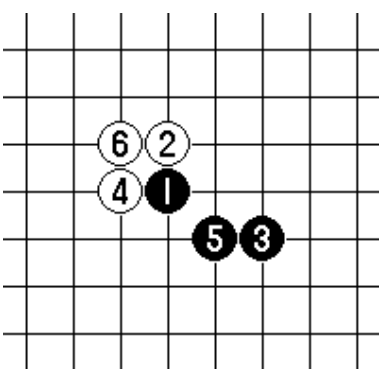
丘月斜月共通形で、黒5を形に惚れて打ってしまうと白6で固まられるのが怖い。よく見ると、金星と同じ形に戻っている。

<丘月>



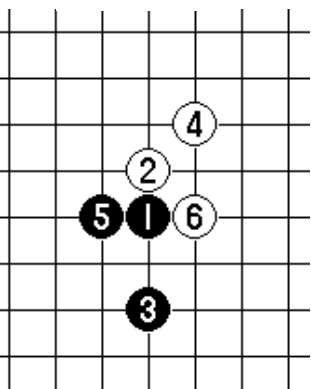
次の新月も白4や6と打たれた時に注意が必要だ。黒5は白6でこれも必敗となる。よく見ると前図による。

<新月>



く似ていることがわかる。

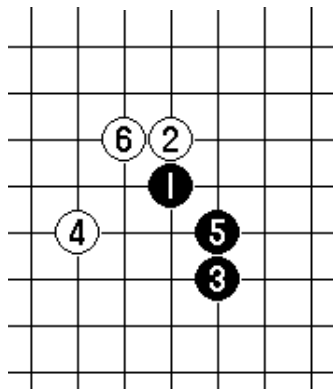
<瑞星>



山月は白4の「山おろし」

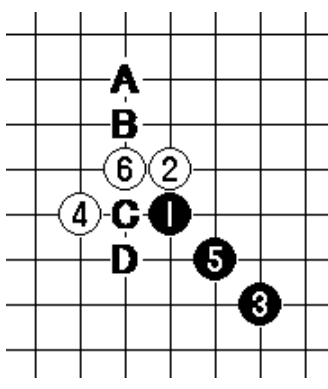
さて、瑞星がもつともドボンの五珠が有名な珠型である。この黒5が負けであるのは「五目並べ」から見たら信じられないだろう。これも、三々禁がある連珠ならではの理屈であろう。

<山月>



から探してみたい。

<遊星>



白4に黒5は3と4題しか打てないが、この5は白6と打たれると黒は困る。最後の遊星は黒5と引けるか引けないかが重要で、基礎知識として知っておきたい。この白4には黒5はダメで、4がAとDとこの列のところは黒5がダメというところも知っておきたい。